

学校再編方針にかかる地域説明会での質疑 【北条・全中学校区】

令和6年1月28日（日）

市長が変わり、いきなり小学校の統合となった。2年というのは乱暴なやり方ではないか。少人数学級や少人数授業など、子ども一人一人を丁寧に見ることができる小規模のよさを残すと書いてあるが、統合になったらそんなことはできないのではないか。

学校がなくなることに关していろいろな思いはあるが、子どもたちに多様な学びの機会を提供することについては、物理的に子どもがいないとなかなかできない。子どもたちが今後社会に出ていくときに、例えば5人とか6人という中で育っていくことが本当にいいのかと考える。

2年前に教員にもアンケート調査をした。多くの教員がこのままの小さい学校のままではいけないと答えている。今回の保護者アンケートも、自分の子どもの教育を考えると小規模の学校については再編を考えたほうがいいという意見であった。これまでの学校に対して一生懸命やってこられた方がいらっしゃることはよく分かるが、再編を考えるべきだと判断した。

小さい規模の学校については、令和8年には複式学級になる。2学年を1人の教員が担任して見ることになる。確かに早いのはそのとおりだが、それまでに体制を整えたいという考えからである。

部活ができない、他校との試合もできないから、中学校の統合が先という話を聞いていたが、どうして中学校の統合が後になったのか。

中学校は新たな校舎を建設するため、これだけの年数が必要となると理解いただきたい。

そういうことに時間がかかるのはわかるが、どうして小学校が先になってしまうのか。岐阜県の山県市に統合も廃校もせず少人数の授業を行い、体育は他校と交流する小学校がある。将来的には統合というのは仕方ないと思うが、いきなり2年は早すぎる。だったらもう令和10年で全部統合すればどうか。

小学校の統合が唐突だということろはよく分かる。しかし、令和4年の答申内容には、11校存続という方向でありながらも、複式学級の発生が見込まれるその2年前には地域とともに統合の是非を検討すると発表した。複式学級が想定されるのは、現時点で令和8年度に見えている。当時の答申のままでも、令和6年にはその議論を始め、統合の是非を議論する状況にあったことを理解いただきたい。

アンケートは0歳から15歳までの子どもを持つ保護者の全世帯に協力をお願いした。その結果がこの円グラフである。多くの保護者が統合を検討すべきと答えられている。そして、統合のタイミングは複式学級に至らないように、できるだけ早期に実現していくべきと考えたところである。

子ども1人1人を丁寧に見ることができるということは確約してもらえるのか。

統合によって学校の規模は、従来の規模より大きくなる。子どもの数も増えるので、きめ細やかな

目配りなど、いろいろな状況の観察が必要になる。それについては丁寧にしっかりと対応していく。

教職員も1クラス40人、35人の定員の中で授業を行い、クラス運営してく力を持っている。しっかりと対応していくということで理解いただきたい。

統合すると40人のクラスになるのか。

現時点では小学校4年生までは35人学級で、5年生以上中学生までが40人学級というのが法律による定数である。

今まで10人ぐらいの担任をしていた先生が、いきなり35人の担任を持つことができるのか。それとも、サポートの先生がつくのか。

教員は異動をするので、ずっと小さなクラスを担任しているわけではない。他の学校に行ったときには35人のクラスを持つこともある。また、必要などころにはスクールアシスタントを各学校に確保している。できるだけきめ細やかな対応をしていくための制度を設けて学校運営行っている。

「きめ細やかな」というのは約束していただけるということか。

そういった対応をしっかりとやっていくと理解いただきたい。

小学校に先生が何人いるか知らないが、統合になったら今の人数よりも加西市の小学校の先生は減るといふことか。

総数は減ることになるが、一つの学校では一定数の規模を確保できるようになる。今の小規模の学校よりも多数の先生がその学校には配置をされるということになる。

丁寧に子どもたちにも理解してもらおうような説明しないとイケない。大人だけが、保護者だけがということではない。丁寧に今から考えていただきたい。

努力していく。

娘が中学3年生のときに統合になる。受験に影響がでないかととても心配している。統合するまでにどのような取組をしてもらえるのか、今の時点では分からないので、中1の時点で市外へ出て他市へ引っ越して、まず子どもの環境の変化に慣らして、そこから中学3年生で受験をさせる方がいいのか、それともこのまま加西市にとどまるべきか、とても迷っている。統合するまでに子どもたちがその変化についていけるように、どのような取組ができるのか具体的に示してほしい。

各学校で行う授業に関しては、学校規模の大きさにかかわらず、教員がそれぞれのクラスの授業を精いっぱい行う。教員の資質向上という意味で授業力を高めていくことはこれからもずっと行う。

加西の教育をブラッシュアップしていくためにやるべきことはたくさんある。学校が大きくなるとクラスはもちろん増えるが、できるだけ少人数学級、少人数授業を取り入れて、子どもたちが自分た

ちの学力に応じてうまく授業が受けられるような体制をつくっていききたい。学校生活については、明らかに学校が変わるので、当然ギャップもある。そのギャップをどのように埋めていくかについては今後、準備委員会等で、私たちも考え、また地域の方、保護者の方にもいろいろな意見をいただき、できるだけスムーズな統合につなげていきたい。

学力よりも精神面の負担、学校に行かなくなってしまったらどうしようとか、環境の変化についていけずに学校に行きづらくなってしまふ不安の方が大きい。友達をスムーズにつくれない子もいる。社交的な子どもばかりでもない。繊細な子どももいる。心に負担がかからないようにこのような取組をするということを事前に聞いておければ、身動きがとりやすい。無理なら別の市に引っ越しして、よりよい環境をつくって受験に向けてあげたいというのが率直な思い。少人数のクラス編成にするとか、3年生はなるべく同じ校区同士のクラスにするとか、そういった具体的な何かを示してもらえれば保護者としてはかなり安心する。今のところ具体的に決まっていないということか。

方針を決めたところなので、具体的なところはまだない。学校統合する前に、それぞれの中学校の同じ学年の子どもたちの交流を深めるとか、何か一緒に一つの授業を行うとか、お互いの子どもたちを知るというのは大事なことだと思う。昨年度、賀茂小学校、下里小学校、善防中学校の児童、生徒が西本智実さんのコンサートで一緒に演奏をした。時間がなくて子ども同士の交流はそれほどなかったが、子ども同士が交流し、お互いを知る機会をつくることは大事だと考える。

同じ校区の子ども同士のクラスをつくることと、多様な出会いをつくることとはマッチしない。心配のことはよく分かる。絶対に大丈夫と安易に言えることではない。子どもたちに多様な出会いを確保するということは、逆に言えば、子どもたち同士のあつれきも当然でてくる。

決してよいことばかりではない。あつれきということも含めて成長の機会と考える。ただし、そのことによって、子どもたちが不登校、学校に行けなくならないように見守る必要がある。今後、教育委員会、学校として、地域の保護者の方と具体的に相談していかなければいけないと思っている。

3年生の受験のときに統合するタイミングの子どもたちもいるので、そのときに子どもたちの受験に影響を及ぼさないようにしていただければありがたい。

はい。

私は神戸市から結婚を機に転居してきた。今住んでいる西在田は出ていく人の方が多いと感じている。私は転居してきた身なので、西在田のいいところはすごくよく身に染みている。これからも小学校、中学校を維持していくのであれば、地元の人以外からも加西市を選んで住みたいと思ってもらえる都市になっていく必要がある。そういったときに選ばれる校区というのはどうしても小学校や中学校が近くにある環境が選ばれるのではないかと思う。小学校、中学校が統合されて規模が大きくなることのメリットもあると思う。高校、大学に進学していくに当たっては、やはり35人、40人、そういったクラスを経験していることは大事なことだと思う。現状、人口は減少しているものの、児童、生

徒の不登校の数は増えている。なぜなのか実際のところ教えていただきたい。学校の人数の割合に応じて不登校の多い少ないはあると思うが、どの学校、こういった規模の学校で、加西市は不登校が多いのか教えてほしい。

現状の数値は手元にないが、ホームページには年間の不登校数の情報を掲載している。資料のお渡しもできる。不登校はいろんな理由があつての結果となっている。学校の規模が影響しているケースがないとは言い切れないが、それが理由であるということも違う。周辺の環境、家族のこと、友達のこと、いろんなことが要素となって、複数に重なっていることが考えられる。

不登校に至った理由の分析から、学校の規模との関係は直結しにくい。明快にこの理由から不登校に至ったということについては難しい現状、状況があり、非常に申し上げづらいところである。

現状が変わる、変化することに不安を抱える方はたくさんいるが、統合することによって何が解決できるか、児童数、生徒数の問題だけでなく、不登校の問題とか家庭教育の問題とか、そういったところをサポートしていくためにも統合が必要であるということをもっと発信していただきたい。

ありがたい。

再編方針の感想と要望を伝えたい。私の意見と違う部分もあるが、率直な感想としてはいい案だ。将来的なことも考えているし、地域の声もできる限り拾って、今できる一番いい案だと受け止めた。富田小学校の統合はすぐにはないが、単学級で残る富田小学校だけが不利益にならないように学校運営をお願いしたい。PTA も会費が少ない中の運営になるので、子どもたちのためにもできる限り不利益のないようにしていただきたい。

不利益が生じないように最大限努力していく。お気づきの点、その時々には声かけいただきたい。

学校再編を進める中では統合することが一つの軸ではあるが、子育て世代に選ばれるために、こういうところを今から改善していく、今までの学校よりプラスアルファでこういったところを取り組むという部分が、学校再編の両輪であると思う。教育環境を目指すその方向というのはこういった形を検討されているのか。

学校は子どもたちが長く時間を過ごす場所である。教職員と子どもたちの関係づくり、それから子どもたち同士の関係づくり、子どもたちが勉強とか授業も含めて学校に行きたいとか、自分の居場所があるとか、困ったときに相談に乗ってもらえるとか、一種の見守りも含め、子どもたちが安心して成長していける場所となるよう取り組みたい。学習の面もあるし、感情や心の面もある。そのためには教員の資質向上がどうしても要る。子どもたちの教育であると同時に教員自身も学んでいく、そのきっかけにしていきたい。

例えばBASE は単に授業技術を育てるだけではない。1人1人の子どもへの声かけや、学級経営をどう行うか、それができて初めて力を伸ばせる。教員同士で切磋琢磨できる環境をつくるために、この再編は非常に大きな意味がある。STEAMはこの地域のよさを知る。それから、GLOBAL は小学校からの

英語教育があるが、現状では市全体で一体の形になっていない。英語教員のそれぞれの思いを一つにして小学校から中学校までが一体となって子どもも教員も一緒に成長できる環境をつくる。一番のキーワードは「一緒に成長する」。漠然としているが、それが形になるようにしていきたい。これが一番大きな願いである。

今はまだ漠然としているが、今後も説明の機会があると思うので、今後もこういうところを改善していく予定ということは何らかの形で伺いたい。

はい。

新しい中学校の場所が決まらなかったら既存のところに配置される。それはいつぐらいに決まるのか。スムーズにできそうか

新しい用地を確保し、新設中学校を建設したい考えである。このスケジュールに合うように用地を確保していきたい。

市外に出た人が戻ってくることを考えるとき、将来、北条高校はどうなるのか。県と話をしてほしい。

北条高校では、学校の魅力を高めて選んでもらえるように今も取り組んでいる。高校生の様子を見ると自分たちで考えて自分たちの思いで動いている。自走できている。それは、教員たちがこの10年の間にずっと苦勞をしながら子どもたちを育ててきた結果だと思っている。一朝一夕にはいかないが、ずっと関わっていくことによって変わっていく。そういうことを理解して、加西市の中学生にも北条高校を希望してもらうことで学校を残していく。皆さんが希望することによって学校は残っていくとそう考えているので、ぜひよろしくお願ひしたい。